

館長だより第40号（2023・12）

令和5年（2023）度秋期特別展「律令国家成立前夜」は好評のうちに12月3日（日）に終了いたしました。御来館いただきました皆様に厚く感謝申し上げます。

さて先般行われました「チャレンジ・ジュニア学芸員」の表彰式・研究発表会が12月10日に行われました。並びに12月12日（火）から1月14日（日）までの予定でそれら入賞作品の展示が当館ロビーで行われております。

なお受賞作品は以下の通りです。

【個人研究部門・小学生の部】

- 最優秀賞 「僕の好きな縄文時代—小学校6年間を通じて」 河野仁宥
(和歌山市立川永小学校6年生)
- 優秀賞 「和歌山で真綿は作られていたのかな」 河野日香
(和歌山市立川永小学校4年生)
- 奨励賞 「石見型埴輪のモデルは何」 村岡英太郎
(和歌山市立四箇郷北小学校4年生)
- 「はにわしんぶん」 八重橋望実
(橋本市立柱本小学校2年生)

【団体研究部門】

- 最優秀賞 「釣り針の変遷」 和歌山市立高積中学校科学部

以上

研究発表当日はゲストとして関西外国語大学の佐古和江教授をお招きし、各発表に対して懇切なるコメントを頂戴しました。こののち全員で記念撮影を行い、学芸員体験を行ないました。

つぎに令和5年度冬期企画展の紹介です。

令和5年度冬期企画展は、「紀伊半島の東と西—縄文・弥生時代の地域性—」を開催いたします。

会場は当館企画展示室において令和6年1月20日（土）～令和6年2月25日（日）の予定で実施いたします

開催の趣旨は、熊野灘や紀伊水道に臨む紀伊半島の沿岸部では、縄文時代以来、様々な生業が営まれてきました。瀬戸内海と太平洋を結ぶこの地域では、陸上交通網が発達した現代からみても驚くほど広域にわたり日本列島各地と海を介した交流が行われてきたことがわかっています。

紀伊半島の沿岸に所在する縄文・弥生時代の遺跡では、各地の人びととの交流を示す様々な遺物が出土しています。とりわけ縄文土器や弥生土器は、紀伊半島の東岸と西岸でその形や文様が異なっているため、東岸では熊野灘や伊勢湾を介して東海地方と、西岸では紀伊水

道を介して近畿地方や瀬戸内地方と盛んに交流が行われていたと考えられます。

こうした紀伊半島の東岸と西岸に認められる地域性は、縄文時代や弥生時代の石器や漁労具の分布にも現れており、海を介した日常的な交流の範囲を示していると考えられます。

狩猟や採集を生業とした縄文時代と、本格的なコメ作りの開始だけではなく金属器の使用や新しい祭祀が広まった弥生時代は、文化や社会が大きく異なるといわれています。文化や社会の在り方が大きく変化したにもかかわらず、日常的な交流範囲が大きく変化しなかったことは、当時の人びとの生活と自然環境との深いかかわりが背景にあったとみられます。

本展示では、縄文時代から弥生時代の長期間にわたり変わることのなかった紀伊半島の地域性を、県内や三重県南部出土の考古資料を通じて紹介します。

展示構成、展示品の主たるものは以下の通りです。

第1章 縄文時代の地域性と交流

1) 縄文時代の文化・社会と交流

縄文土器、イモガイ類製品	田辺市高山寺貝塚（高山寺蔵）
縄文土器、土偶、石刀、蛇紋岩製石斧 石錘	和歌山市川辺遺跡（県教育委員会蔵） 三重県熊野市釜の平遺跡（高山寺蔵）
縄文土器、石錘、石棒	三重県尾鷲市曾根遺跡（尾鷲市曾根区蔵）

2) 縄文土器の形と文様に見る東と西

縄文土器	和歌山市禰宜貝塚（県教育委員会蔵）
縄文土器	広川町鷹島遺跡（県教育委員会蔵）
縄文土器	みなべ町徳蔵地区遺跡（みなべ町教育委員会蔵）
縄文土器	串本町大水崎遺跡（県教育委員会蔵）
縄文土器	三重県尾鷲市曾根遺跡（尾鷲市曾根区蔵）

3) 石器石材の流通 ー東の黒曜石と西のサヌカイトー

サヌカイト製剥片	和歌山市川辺遺跡（県教育委員会蔵）
サヌカイト製・黒曜石製剥片	みなべ町徳蔵地区遺跡（みなべ町教育委員会蔵）
黒曜石製剥片	三重県尾鷲市曾根遺跡（尾鷲市曾根区蔵）

第2章 弥生時代の地域性と交流

1) 弥生時代の文化・社会と交流

有本銅鐸（県指定文化財）	和歌山市有本銅鐸出土地（県教育委員会蔵）
弥生土器、竪杵、鍬、穂摘具、石斧	御坊市堅田遺跡（御坊市県教育委員会蔵）
弥生土器、石斧、石包丁、広鍬、弓、木製容器	（県指定文化財） すさみ町立野遺跡（県教育委員会蔵）
弥生土器、鉄製斧・ヤリガンナ	かつらぎ町船岡山遺跡（県教育委員会蔵）

2) 弥生土器の形と文様に見る東と西

弥生土器	和歌山市神前遺跡（県教育委員会蔵）
------	-------------------

弥生土器	御坊市堅田遺跡（御坊市県教育委員会蔵）
弥生土器	田辺市八丁田圃遺跡（田辺市教育委員会蔵）
弥生土器	みなべ町高見遺跡（みなべ町教育委員会蔵）
弥生土器	串本町笠嶋遺跡（県教育委員会蔵）
弥生土器	新宮市八反田遺跡（県教育委員会蔵）
弥生土器	三重県熊野市津ノ森遺跡（高山寺蔵）

3) 東から伝えられた儀礼の道具・石棒

石棒	和歌山市太田・黒田遺跡（県教育委員会蔵）
石棒	御坊市堅田遺跡（御坊市県教育委員会蔵）
石棒	みなべ町徳蔵地区遺跡（みなべ町教育委員会蔵）
石棒（県指定文化財）	すさみ町立野遺跡（県教育委員会蔵）

4) 各地に運ばれた紀伊型甕

弥生土器	和歌山市太田・黒田遺跡（県教育委員会蔵）
弥生土器	和歌山市神前遺跡（県教育委員会蔵）
弥生土器	みなべ町徳蔵地区遺跡（みなべ町教育委員会蔵）

第3章 古墳時代以降の地域性

1) 甕の形にみる東と西

土師器	和歌山市井辺遺跡（県教育委員会蔵）
土師器	新宮市八反田遺跡（県教育委員会蔵）

2) 漁労具にみる東と西

土錘	和歌山市西庄遺跡（県教育委員会蔵）
土錘	由良町大引遺跡（県教育委員会蔵）

おわりに

【関連行事】

冬期企画展展示講座 令和6年2月11日（日・祝）13:30～15:30

【開館時間・休館日】

開館時間：9:00～16:30（入館は16:00まで）

休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日または休日の場合は次の平日）

【入館料】 一 般 190 円（20 名以上団体割引 150 円）

大学生 90 円（20 名以上団体割引 70 円）

高校生以下、65 歳以上、障害者手帳等をお持ちの方および県内在住の留学生は無料（証明書の提示が必要）

以上です。皆様のご来館をお待ちいたしております。